

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第27回）（Web会議）

日時：令和2年7月20日（月）14：00～16：16

議事概要：

（1）家畜に使用する硫酸コリスチン*に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

審議の結果、

- 硫酸コリスチンが、動物用医薬品として家畜に使用された結果としてハザード（コリスチン耐性大腸菌及びサルモネラ）が選択され、牛及び豚由来の畜産食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できないが、リスクの程度は低度であると考えた。
- 薬剤耐性菌について、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえ、また、リスク評価の手法についても国際的に十分確立されていないと考えるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。
- なお、本評価結果は、現在実施されているリスク管理措置を前提としたものである。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

- * ポリペプチド系抗生物質で、動物用医薬品として牛及び豚の細菌性下痢症の治療に使用されています。